

## 20 ヒメアマツバメ

(アマツバメ目)

兵庫県ランク: B

*Apus nipalensis*

繁殖個体群:B 越冬個体群:ー 通過個体群:B

環境省ランク:

### 種の概要

ヒマラヤ東部から中国南部、日本、台湾、東南アジアなどに繁殖分布する。日本では本州中・南西部、四国、九州、沖縄に周年生息し繁殖するが、一部は繁殖後南方に移動し越冬する。平地の河川沿いや住宅地周辺に生息し、飛んでいる小昆虫類を捕食する。建造物に単独または集団で営巣する。



写真提供：尾崎雄二

(性別：不明)

### 国内分布

本州北部、本州中・南西部、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、男女群島、甕島列島、宇治群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

### 県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、★尼崎市、★西宮市、★伊丹市、★豊岡市、赤穂市、★宝塚市、★川西市、★丹波市、淡路市、たつの市、★佐用町、香美町

### 主要な選定理由

| 影響の人為性    |           |                  |               |               | 生態の脆弱性<br>(特殊性) |                |                            | 学術上の<br>希少性   |        |
|-----------|-----------|------------------|---------------|---------------|-----------------|----------------|----------------------------|---------------|--------|
| 個体数<br>激減 | 分布域<br>激減 | 餌の<br>可用性<br>の低下 | 特殊<br>競争<br>圧 | 特殊<br>捕食<br>圧 | 特殊<br>繁殖<br>環境  | 特殊<br>採餌<br>環境 | ねぐ<br>特殊<br>ら休<br>息環<br>境・ | 局<br>地的<br>繁殖 | 希<br>少 |
|           |           |                  |               |               | ○               |                |                            | ○             |        |

### 県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では局所的だが周年生息し繁殖する。1980年代に入ってから生息するようになったもので、1983年4月に川西市の高等学校で初めて繁殖が確認された。近年は生息地が各地に広がっているが、個体数はあまり多くない。

### 保護上の留意点

人工構造物で集団営巣するため、繁殖が不安定なところがある。保護のためには、現在営巣している建造物周辺での長年にわたる保全措置を検討することが必要。